

～ 農作物の野生鳥獣被害にお困りの地域・集落のみなさんへ ～
地域ぐるみで「えづけSTOP！対策」に取り組みましょう！

「えづけSTOP！」とは、農作物に被害を与えるイノシシやシカ等の野生動物に、無意識のうちに行ってしまう集落や田畑を使った「えづけ（餌付け）」を「やめる（STOP）」という考え方です。

この考え方を基本に、地域ぐるみで集落や田畑を見つめ直し、力を合わせて「えづけ」を止めるための対策「えづけSTOP！対策」に取り組みましょう。

「えづけSTOP！対策」のポイント

「えづけSTOP！対策」に取り組むうえで、誤った順序で取り組みを進めると、将来的に効果維持が難しくなる場合があるため、以下のステップで取り組むことが重要です。

ステップ1：みんなで勉強

集落・地域のみんなで、鳥獣や被害対策について学習したうえで、正しい知識に基づく対応や共通の問題意識を持つことが必要です。

ステップ2：守れる田畑・集落づくり

「えづけSTOP！」の観点から、現在の集落・地域を見つめ直し、鳥獣が近寄りにくく住みにくい集落・地域に環境を変えていく必要があります。

ステップ3：囲いや追い払い

集落・地域を野生鳥獣のエサ場としないため、防護柵の設置や、野生鳥獣にとって怖い場所と学習させるための追い払い活動に地域ぐるみで取り組む必要があります。

ステップ4：有害鳥獣の捕獲

集落・地域に被害を与えている、集落近辺に住みついたイノシシやシカ等を対象として有害捕獲を行います。



☞ あなたの集落・地域は大丈夫？

無意識に行われている「えづけ」の例

- 放置された稲刈り後の雑草や2番穂
- 植えたまま未収穫の果樹
- ゴミ捨て場の生ごみ
- 放置された竹林のタケノコ、野菜くずや収穫物
- お墓のお供え物 等

詳しくは、「これならできる！鳥獣被害対策の手引き」をご覧ください（熊本県ホームページからもダウンロードできます）。

お問い合わせ先

熊本県農林水産部農村振興局むらづくり課

TEL:096-333-2416

～ えづけSTOP！鳥獣被害対策事業（県事業）のご紹介 ～
 地域ぐるみで「えづけSTOP！対策」に取り組む集落
 ・農業者グループ等を支援します

「えづけSTOP！対策」を実践する集落や農業者等のグループを育成する市町村・地域協議会の取組みに対し、集落やグループの活動に要する経費を支援します。

支援概要：事業主体…市町村、地域協議会または地域協議会の構成員
 支援要件…受益農家は3戸以上、市町村の被害防止計画に基づく取組みであること等
 補助率等…定額（400千円／地区）
 ※シカ、カモ対策による新たな被害防止の取組みは1,000千円／地区

支援対象となる取組み

1 みんなで勉強

- 研修会や講習会の開催、先進地視察の実施
- 正しい対策を実践・学習するための「展示ほ」の設置

2 守れる田畑・集落づくり

- 集落点検の実施、集落点検マップ・活動計画の作成
- 耕作放棄地やヤブの解消、放任果樹の伐採、庭木の剪定
- 既設防護柵の補修、設置場所の移動、周囲の刈り払い

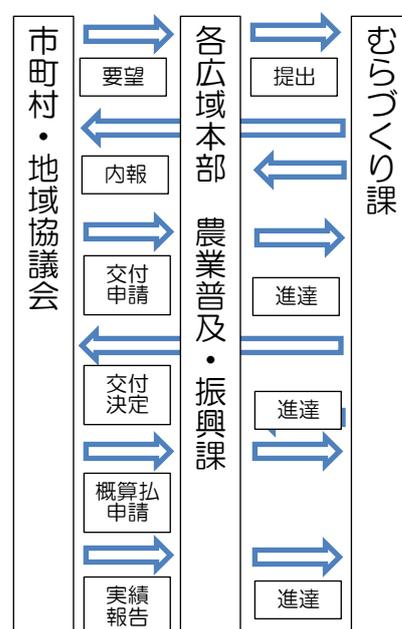
3 囲いや追い払い

- 侵入防止柵の整備（国事業の対象外のものに限る。）
 ※この取組みで計画し、国事業により整備するものについては、翌年度以降の予算配分において配慮されます。
- 地域ぐるみの追い払い活動（追い払い資材の作成・購入等）

※ 1及び2の取組みを必須とし、1については一定の講習を受け
 た者もしくは専門家による研修会等とします。

「4有害鳥獣の捕獲」については国事業による支援措置があります。

事業の流れ



【サポート】

県では、地域ぐるみの「えづけSTOP！対策」を進めるため、「えづけSTOP！実践塾」を開催しています。興味がある、勉強してみたい、取り組んでみたいという集落や農業者等の皆さんはぜひご参加ください。また、学習資料や講師リストも提供しています。最寄りの市町村を通じてお申込みください。

提供する学習資料：「これならできる！鳥獣被害対策の手引き」・・・必要部数
 鳥獣バスター養成講座DVD（約25分×4巻）・・・1セット など

「えづけSTOP！鳥獣被害防止対策事業（県事業）」についてもっと知りたい、自分たちの地域でやってみたいという方は、市町村の鳥獣被害対策担当課または下記お問い合わせ先にお尋ね下さい。

[お問い合わせ先]熊本県農林水産部農村振興局むらづくり課 鳥獣害対策・農業遺産推進班
 TEL:096-333-2416
 または最寄りの市町村鳥獣被害対策担当課まで